

## 優しく親しみある人々のエルサルバドル

「エルサルバドルは治安が悪い」と言われますが、危険な場所に行かず、一人で夜間外出をしなければまず安全です。私はこれを守り、まったく怖い思いをしませんでした。さらにほとんどの人たちは親切です。

エルサルバドルに到着したばかりの頃、パソコンの接続コードを買うためにタクシーで買い物に出掛けました。買い物を終え、帰宅しようとしたところ、道に迷ってしまいました。通りがかりのご婦人に、自宅の場所を告げバスの停留場はないか伺うと、なんと、かなりの道程をそこまで歩いて案内してくださいました。さらにそのバス停で待っている乗客の中から、その方面まで行く男性を捜し当て「一緒に乗って、降りるところを教えてください」とお願いしてくださいました。男性は快く引き受け、バスに同乗し実際に降りるバス停に近づくとその男性は、次で降りること、降りたらどのように行くかまで教えてくださいました。このように優しい2人の案内によって無事に帰宅することができました。

さらに現地では、親しい友人を多く持つことができました。特に、私はエルサルバドル大学で日本語を教えていましたが、ある日2名の学生と知り合い毎週映画に行くほど親しくなりました。映画も入場料が安く、しかも大スクリーンで楽しめました。

食事も安く、美味しく郷土料理から、メキシカン、中華料理、さらに日本料理も一緒によく食べました。



郷土料理 上：焼きバナナ 右：フリホーレス

映画館にて



日本料理



メキシコ料理

帰国時には、当日朝に多くの友人が遠くの空港まで見送りにきてくれました。



帰国時 空港にて

このように、私にとっては「治安の悪いエルサルバドル」ではなく「優しく親しみある人々のエルサルバドル」でした。

堀 純兒

堀 純兒（ほり じゅんじ）氏

JICA シニアボランティアとして、2015年7月から2年間エルサルバドル大学において日本語教師・生徒に対し日本語及び日本語教授法を指導する。現在は帰国し日本語学校にて留学生の日本語指導に携わる。